

平成18年9月の解説（府県天気予報）

【9月の天候状況】

上旬前半は日本付近が高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。上旬後半から中旬前半にかけては日本の南岸に前線が停滞して雨や曇りの日が多くなりました。中旬の後半には台風第13号が九州に上陸した後、日本海から北海道に進んだため全国各地で雨が降りました。下旬は日本付近が高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、東日本、北日本では日本の南海上で発生した低気圧の影響で下旬の後半に雨が降りました。

月を通しての日照時間は平年に比べて東日本の日本海側、北日本および西日本の太平洋側で多く、南西諸島ではかなり少なくなりました。降水量はほぼ全国的に平年を下回り、特に北日本と九州地方では平年の40%以下の観測地点もありました。気温は北日本では平年より高くなりましたが、その他の地方ではほぼ平年並でした。

【9月の検証結果】

17時発表の天気予報で「降水の有無」の全国平均の適中率は、明日予報で83%と例年^(注)より2ポイント高く、明後日予報で79%と例年より3ポイント高くなりました。地域毎の適中率では、明日予報は九州南部地方では例年より7ポイント低く、関東甲信、東海、北陸、近畿地方では例年より5から7ポイント高くなりました。明後日予報は九州南部地方で例年より5ポイント低く、北海道、関東甲信、北陸、四国地方では例年より5から9ポイント高くなりました。明日の最高気温の予報誤差は例年に比べて中国地方では0.4℃、四国地方では0.5℃大きく、一方関東甲信地方では0.4℃小さく、全国平均では例年と同じ1.9℃でした。また、最低気温の予報誤差は、四国、九州南部地方で例年より0.3℃小さく、全国平均では例年より0.1℃小さい1.3℃でした。

(注) 例年値は気象庁HP（予報精度検証）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

【9月の天気予報から】

本州の南岸を低気圧が発達することなく東へ進む場合、雨が降るのは主に海上や伊豆諸島などの島嶼部になります。東京地方の天気予報では、低気圧に伴う雨の範囲が沿岸からどの程度内陸まで広がるかを予想することがポイントになります。

8月31日に九州付近で発生した低気圧が9月1日にかけて、本州の南岸に停滞していた前線を東へ進めました。8月31日の夕方に発表した天気予報では、東京地方の明日（1日）の天気を「くもり、ところにより昼過ぎから宵の

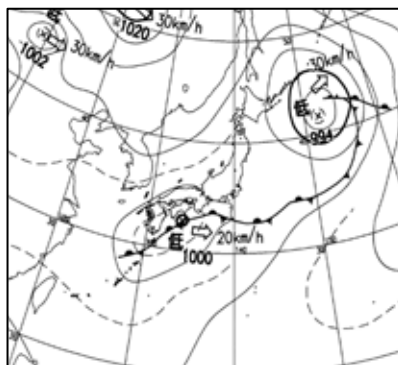


図1 9月1日09時の実況地上天気図

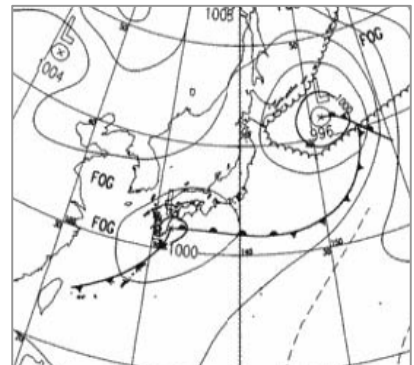


図2 8月31日09時から24時間後の
予想地上天気図

うち雨」と予報しました。これは、この低気圧が発達することなく本州の南岸を東に進むことから、雨の降る範囲は本州の沿岸部に限られると予想し、東京地方でも一部で雨が降ることはあっても、広い範囲で雨が降ることはないと考えたためです。

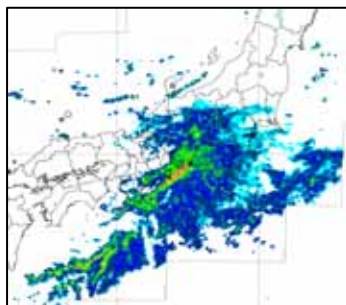


図3 9月1日09時の気象レーダー観測

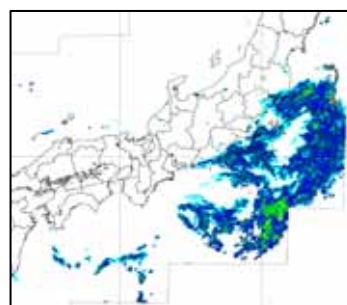


図4 9月1日17時の気象レーダー観測

この日の実況天気図(図1)では24時間前に発表した予報図に比べて東海道沖で前線が北側に盛り上がっています。予想に反して低気圧の前面で前線が北側に盛り上がり、活動も活発になったため、1日朝から夕方にかけて雨雲が関東地方全体に広がり、東京地方の全域で雨が降りました(図3、4)。

このように低気圧の動向がほぼ予想できても、前線の南北の位置がわずかに予想とずれることで天気が大きく変わるため、雨域の境界にあたる地方の天気予報は難しくなります。

【11月の天気予報の利用にあたって】

11月は日本付近を低気圧と高気圧が交互に通過して、天気が数日周期で変化することが多いのですが、ときには低気圧が急速に発達しながら通過することもあります。

2004年11月25日に黄海で発生した低気圧は、急速に発達しながら、26日には日本海(図1)、27日にはオホーツク海(図2)に進みました。このため、26日の深夜から27日の午前中にかけて北日本を中心に各地で非常に強い風が吹くなど(右表)、全国各地で大荒れの天気となり建物や農業施設の損壊、倒木、停電、交通障害などの被害が発生しました。

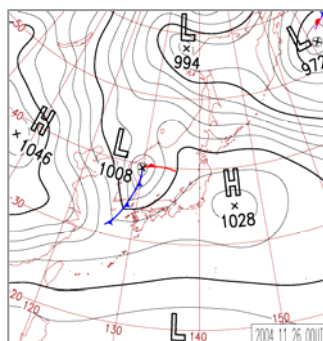


図1 2004年11月26日09時の地上天気図

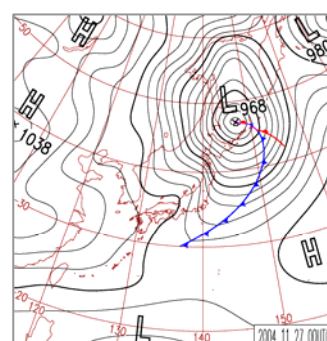


図2 2004年11月27日09時の地上天気図

表 2004年11月26日から27日にかけて風速20m/s以上を観測した主な観測地点

	最大風速	同風向	最大瞬間風速	同風向
浦河(北海道)	26.0m/s	西	42.7m/s	西
江差(北海道)	21.4m/s	南西	39.0m/s	西南西
秋田(秋田県)	23.3m/s	西	38.0m/s	西
石巻(宮城県)	20.0m/s	西北西	36.1m/s	西北西
相川(新潟県)	25.7m/s	西北西	39.3m/s	西北西

天気予報や気象情報などで、低気圧が急速に発達しながら日本付近を通過して暴風が吹くことが予想されている場合には、注意報・警報などの最新の防災気象情報で風の程度や強い風の吹く時間帯などの細かい情報を入手して、風が強くなる前に風に飛ばされそうなものをしっかり固定するなど万全の対策をして被害を防ぎましょう。